

筑波大学新聞

第317号

編集責任 筑波大学新聞 編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

授業中のスマホ

学生約9割が使用

本紙調査

学生の74%が授業中「授業に無関係の用途」でスマホを使用し、うち67%がその使用に「罪悪感」を感じている……。10月に本紙が筑波大学3,600人、東京の5大学2,699人に行ったアンケート調査で、こんな結果が明らかになった。一方、筑波大教員33人への調査では、授業中の使用について70%が「一部」または「全面的」に認める、と回答。恒常化した授業中のスマホ使用に学生が罪悪感を感じる一方、それが「市民権」を得始めていることも判明した。(新田明夏II社会学類2年、大西美雨II同1年、6、7面に関連特集)

「授業に無関係の用途」で7割だった。また、授業に無関係の用途でスマホを使用した学生のうち、「罪悪感を感じた」と回答している。アンケートによると、「授業に無関係の用途」でスマホを使用した学生のほとんどがツイッターやLINEなどのSNSを使用。これらの学生からは「大学生だから(判断力もあり)一律に制限すべきではない」「それぞれの授業の教員が(スマホの使用の可否を)決めるべきだ」といった意見が多かった。

一方で、筑波大の教員への調査で、授業中のスマホ使用を一部/全面的に認めるとした教員は18%で、その理由として、「学生が講義を聞いていない」「講義をする意欲が削がれる」など

べるとは認める「などの意見があった。また、「全面的に使用を認めない」と答えた教員は18%で、その理由として、「学生が講義を聞いていない」「講義をする意欲が削がれる」など

教員は7割が「認める」

調査は10月、筑波大のほか、青山学院、慶應義塾上智、一橋、法政の各大学で実施。他大学では学生が授業中のスマホ使用率を編纂する新聞が協力した。その結果、筑波大の場合は67%、また他大学は82%

一方で、「無関係の用途」で7割だった。また、授業に無関係の用途でスマホを使用した学生のうち、「罪悪感を感じた」と回答している。アンケートによると、「授業に無関係の用途」でスマホを使用した学生のほとんどがツイッターやLINEなどのSNSを使用。これらの学生からは「大学生だから(判断力もあり)一律に制限すべきではない」「それぞれの授業の教員が(スマホの使用の可否を)決めるべきだ」といった意見が多かった。

また、「学生がスマホを使用しなくなるような面白い授業を心がけてほしい」と

一方で、筑波大の教員への調査で、授業中のスマホ使用を一部/全面的に認めるとした教員は18%で、その理由として、「学生が講義を聞いていない」「講義をする意欲が削がれる」など

一方で、筑波大の教員への調査で、授業中のスマホ使用を一部/全面的に認めるとした教員は18%で、その理由として、「学生が講義を聞いていない」「講義をする意欲が削がれる」など

盗難自転車持ち主に返還

自転車・バイク 登録制度 ICタグで特定

筑波大学が昨年10月に導入した自転車・バイク登録制度で、自転車で装着したICタグが奏功し、盗難自転車が無事持ち主の手に戻った例が30件以上のほ

置自転車でも同様の事例が相次いでいる。元来は迷惑駐輪や放置自転車・バイクの防止が目的の制度だったが、ICタグが装着された自転車が盗難された際に、ICタグの発信が、筑波大学の学生生活課に「ICタグは盗難対策としてもある程度有効なのではないか」と

主が特定され、一部が返還された。放置自転車の一部は盗難された可能性がある。一方、同課によると、今年4～9月の学内の自転車盗難の件数は43件で、前年の同時期(11件)の約4倍

主が特定され、一部が返還された。放置自転車の一部は盗難された可能性がある。一方、同課によると、今年4～9月の学内の自転車盗難の件数は43件で、前年の同時期(11件)の約4倍

主が特定され、一部が返還された。放置自転車の一部は盗難された可能性がある。一方、同課によると、今年4～9月の学内の自転車盗難の件数は43件で、前年の同時期(11件)の約4倍



「また帰っておいで」 下田でウミガメふ化

び出すと、すでに子ガメ10数匹が波打ち際を目指していた。後ろで見守るのは職員約20人。職員らは9月以来、「砂浜でウミガメが産卵した可能性がある」と話し合っており、待ち望んだ誕生の瞬間だった。

和助教によると、子ガメたちの最初の試練は「波」だった。約20分先の波打ち際まで10分ほどかけて到着しても、押し寄せる波に追い返され、なかなか大海原に漕ぎ出せない……。その奮闘ぶりに職員たちも一喜一憂したという。

下田市の下田海中水族館によると、アカウミガメは同市周辺の砂浜などで毎年5～8月ごろ産卵。1回90～130個の卵を産み、約2カ月でふ化する。産卵地の乱開発などで絶滅が危惧されており、和助教は「今回の産卵地周辺にはインシシカが出回っており、無事にかえってよかった。大海原での無事を祈るだけです」と話していた。



学長インタビュー 永田恭介学長 (10月22日、学長応接室で) = 田中開撮影

学長インタビュー 永田恭介学長 (10月22日、学長応接室で) = 田中開撮影

筑波大 人社系存続を明言

文系学部廃止問題

文系学部の組織は存続する。文科省が今年、国立大学の組織改革案として「人文社会科学系」の学部・大学については、「組織の廃止や、社会的要請の高い分野への転換に積極的に取り組むべきではない」という方針を示している。筑波大は「人社系」の学部・大学については、「組織の廃止や、社会的要請の高い分野への転換に積極的に取り組むべきではない」という方針を示している。

紙面から

| | | |
|----------|-------------|----|
| 下田センター | 下村氏 特別招聘教授に | 2 |
| 附属図書館企画展 | 貴重な書籍展示 | 5 |
| サッカー | 今季初連勝で10位浮上 | 8 |
| 野球部 | リーグ優勝逃す | 9 |
| 男子バスケット部 | ファン交流イベント好評 | 10 |
| 人工衛星「結」 | 2号機打ち上げへ | 11 |

ミニ特集

| | |
|----------------------------|-----|
| 国立大学から「文系」が消える? | 3 |
| 特集 | 6,7 |
| 筑波大生の44%が授業中のスマホ「制限すべきでない」 | |

筑波お話し 半世紀前の東京五輪で、海外メディアに「東洋の魔女」と名付けられた女性たちがいた。日本の女子バレーボールチームだ。五輪では連戦連勝を重ね、最後は宿敵ソ連(当時)を破り見事メダルを獲得。日本中を熱狂の渦に巻き込んだ▼立役者は、厳しい指導で知られた監督の大松博文だった。異名は「鬼の大松」。選手に「どんな困難にもめげない精神力」「体力の限界を超えるハードトレーニング」を求め、体を壊した選手には練習しながら「治せ」と一喝し、鍛え上げた▼そのスパルタ指導は、日本に「根性論」を根付かせるきっかけとなった。我慢すればどんな厳しい状況も打破できる

下村脩氏が特別招聘教授に



下村脩氏(左)と稲葉一男センター長(右) (10月17日、静岡県下田市で) = 下田臨海実験センター提供

研究機能の拡充進む

筑波大学の海洋研究の拠点、下田臨海実験センター(静岡県下田市)の研究機能の拡充が急速に進んでいる。10月には2008年にノーベル化学賞を受賞した下村脩氏が筑波大の特別招聘教授に就任。一方、3月には最新鋭の調査船「つくばII」が完成。9月には老朽化した研究棟も改修されたことで、今後の研究成果が期待されている。下村氏は、継続的に筑波大の研究活動への助言をしていく予定で、同センター長の稲葉一男教授(生環系)は「下村氏のサポートを受けながら、(下村氏が提唱する)生物学と化学を融合させた海洋研究をさらに進めていきたい」と話している。(平嶋健人「社会学類3年、12面」関連写真)

研究機能の拡充進む

下田臨海実験センターを訪ね、研究室や実験設備を見学し、教員や学生から研究内容について説明を受けたほか、稼働を始めたばかりのつくばIIに乗船。職員や学生と共に、捕獲用ネットを使って海洋生物を採集観察した。

懇親会では、同センターの学生に「困難があっても地道に研究を続け、最後まであきらめないことが大事だ」と話したという。

■下村氏、特別招聘教授に就任

10月24日付で就任した下村氏は在任中、筑波大の研究活動は行わない見込みだ。しかし、来日した際に筑波大で講演を行った。筑波大の生物学や化学分野の研究内容・方針について助言する。また、生物学と化学を融合させた学問分野「ケミカルマリノバイオロジー」の研究グループに所属し、研究へのアドバイスを行う予定。

■新型調査船が完成

老朽化した海洋調査船「つくばI」の後継として造船された「つくばII」が今年3月完成した。つくばIIは、水深約1500mまでの海中・海底の様子をリアルタイムに映し出すことができるロボット「ROV」や、海底地形を三次元で計測できる探査機を新たに導入。ダイバーが潜水できなかった深海・海底環境の調査が初めて可能となった。海洋生物



86歳の時にバイオテクノロジーに関する研究で博士号を取得した茨城県信用組合会長の轟谷祐一さん(平成21年度生環境科学研究科修了)が、ブロンズ像2体と自作の漢詩を刻んだ銘板を筑波大に寄贈した。10月7日に除幕式が行われ、永田恭介学長らが出席した。寄贈されたブロンズ像は、いずれも柴田良貴教授(芸術系)の作品。うち1体は「旅へ(高さ105cm)」と題するもので、総合研究棟Aの南側広場に設置された。女性がこの日から社会へ踏み出そうとする様子を表している。もう1体は、芸術学系棟に置かれた「夜の暮をひらく(同184cm)。「旅へ」のそばには、「食を忘れず」という意味を込めた「忘食」という轟谷さん作の漢詩銘文も設置。大学院生時代の思い出が詰め込まれ、学生へのメッセージになっている。

ブロンズ像2体を寄贈

総合研究棟Aの南側広場で行われた式典では、寄贈を受け永田学長から轟谷さんに感謝状が贈呈された。

LINE 森川氏が講演 「変化への対応が重要」

筑波大学・つくば市・インターネット株式会社との連携事業「第3回 起業家教育講座」が10月11日、情報メディアユニオンメディアホールで開催された。同講座ではLINE社長の森川亮氏(昭和63年度情報学類卒業)と経営コンサルタントの本庄修二氏の講演と対談が行われ、会場には学生や社会人など約60人が訪れた。

第一部では無料通話・メールアプリ「LINE」のビジネスモデルを森川氏が解説。「将来が予測できない時代なので、先を読むのに時間を使うより、変化にどれだけ対応できるかが重要」と話し、事業計画を作らず、会議も行わない独自の社風を明らかにした。

第二部では「なぜ頭のいい人も新事業で大苦戦するのか?」をテーマに本庄氏が具体的な事業の失敗例を交えながら、アイデアを事業化する方法などについて説明。本庄氏は「物やサービスが売れる」マーケティングを知るにはアンケート調査が効果的だ」と話した。

両氏の対談ではそれぞれが学生時代や大学の重要性について話及んだ。また、「行き当たりばったり」と「臨機応変」はどう違うのか?という参加者からの質問に対し森川氏は「目的と手段の違いを認識しているかどうか?が問題。何を達成したいのか目的を明確にした上で、場合に応じて手段を変えていくのが臨機応変だ」と答えた。(齋藤優斗)

「日本の学生は知識不足」

再任が決定した永田学長に聞く

めまぐるしく変わる世界情勢や社会の価値観に、今後、大学はどう対応していくべきか。来年4月からの再任が決定した永田恭介学長に、今後の任期4年間の抱負などを聞いた。(聞き手・井口彩「社会学類2年」)

■教育方針

筑波大学では現在、学群・学類を超えて授業を履修できるカリキュラムが整備されているが、単に教養としてほかの分野を学ぶだけでは不十分だ。十分に消化し身に付けなければ将来役に立たない。世界では「大学卒業生なら

■研究の支援体制

筑波大が日本や世界をリードするような研究を支えてい

きたい。一例が体育系を主とする五輪研究だ。筑波大は日本の五輪教育・研究の中心的存在。他にも筑波大には学問の中心になりうる研究が多くある。そこを伸ばしたい。また、学生や若手研究者の発想力も大事にしたい。エネルギー問題、少子化問題などさまざまな(現代社会特有の)問題を解決するには発想力と、科学技術が必要。若者の発想力を伸ばす取り組みを積極的にやりたい。

「若者の発想力伸ばしたい」



「Tsukuba Creative Camp」では発想力が試された (7月19日、5C棟で) = 平嶋健人撮影

PJでは、起業のプロの力を借りて、学生が起業のアイデアを練り上げた。このようなこと以外にも、若者がさまざまな経験をできるようにしていきたい。

■つくば市との連携

昔から教育機関は街の中心と企業の共同研究を推進し、誘致にも取り組む。

一期生が同窓会 約230人が集まる

筑波大学第一期生全同窓会「ホームカミングデー」の集いが10月25日に帝国ホテル東京(千代田区)で行われ、一期生のほか、永田恭介学長や当時の教員など約230人が集まった。応援部WINSの演奏も披露され、出席者は旧友との再会に話を弾ませた。

企画のきっかけは昨年11月に、開学40周年を記念して行われた大学主催の同窓会「100人が集まった」の開催を目指す有志、約100人が集まった。発起人の代表、吉岡高志さん(昭和52年度社会学類卒業)は「地道に住所を調べるところから始め、9割



旧友との再会に笑顔を見せた一期生たち (10月25日、帝国ホテル東京で)

J-1鹿島で企業体験 業務サポート行う

業務サポート行う

筑波大学と鹿島アントラーズFCの連携事業の一環として、10月18日、筑波大の学生80人が鹿島アントラーズで企業体験を行った。

学生はアントラーズの本拠地、茨城県立カシマスタジアムのピッチサイドでチームの歴史や、試合映像の制作など運営業務についての説明を受けた。その後アントラーズが試合観戦に

企業体験後にはJリーグ戦、アントラーズ対柏レゾルを体験

アントラーズで企業体験を行った学生は、その後鹿島アントラーズ対柏レゾル戦を観戦した。学生は「貴重な体験になった」と語り、来年度以降の開催も検討していきたいと話した。

筑波大とアントラーズは昨年、地域連携・活性化に向けた連携協力に関する協定を締結。大学院の社会学専攻で、両者が協力し講義を開講するなど連携を強めている。(森脇慎)

国立大学から「文系」が消える？

今年8月、文部科学省は同省の審議会「国立大学法人評価委員会」の議論を受け、国立大学に組織改革案を提示した。そこに書かれた「教員養成系、人文社会科学系の廃止や社会的要請の高い分野への転換」という文言が波紋を呼んでいる。この改革案で国立大学はどう変わるのか。国立大学から「文系」が消えてしまうのか。有識者や現場の教員、学生の声を聞いた。

(井口彩小野憲司、林健太郎、山野拓実、田中開、教育者)

「社会的要請」論点に

問題となっているのは、付随した組織改革案中の国立大学法人評価委員会の「教員養成系、人文社会科学系は組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換」の文言だ。同委員会は、国立大学の法人化に伴い、2003年10月に文部科学省に設置された。同省は、国立大学の運営に基き基本方針や組織運営に関する「中期目標」を6年ごとに設定し、目標達成のための「年度計画」と「中期計画」の作成を各大学に義務づけている。同委員会は各大学が計画をどれだけ実施しているか評価し、次期目標の検討に意見する権限を持つ。委員は、全国の大学長や大手企業

「国立大学法人の組織及び業務全般の見直しに関する視点」より
2. 組織の見直しに関する視点
○「ミッションの再定義」を踏まえた速やかな組織改革が必要ではないか。特に教員養成系学部・大学院、人文社会科学系学部・大学院については、18歳人口の減少や人材需要、教育研究水準の確保、国立大学としての役割等を踏まえた組織見直し計画を策定し、組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換に積極的に取り組むべきではないか。

今回の改革案で議論を呼んだ文言(国立大学法人評価委員会総会(第48回)資料に基づき作成)に積極的に取り組むべきではないか」という文言だ。同委員会は、国立大学の法人化に伴い、2003年10月に文部科学省に設置された。同省は、国立大学の運営に基き基本方針や組織運営に関する「中期目標」を6年ごとに設定し、目標達成のための「年度計画」と「中期計画」の作成を各大学に義務づけている。同委員会は各大学が計画をどれだけ実施しているか評価し、次期目標の検討に意見する権限を持つ。委員は、全国の大学長や大手企業

文科省「文系 国立大に必要」
今回の改革案の真意は何か。文部科学省国立大学戦略室の調査課長、赤石巨さん(以下、赤石さん)に話を聞いた。赤石さんは「文部科学省は、国立大に文系が必要ない」と考えていない」と明言。改革案の作成理由として「少子化で大学受験者数は減り続けているため、受け入れる学生数を見直す必要がある」と挙げた。また「国立大の役割として(哲学や史学などの)需要の低い学問分野の継承と発

学生の声
文系が廃止や転換を迫られていることについて学生はどう考えているのか。文系・理系の学生に聞いた。
【社会学・男性】
社会科学は今の世の中の動きについて考える学問で、決して社会的要請の低い学問ではない。社会科学で養った知識は、さまざまな場面で役立つからだ。例えば、公共政策を学んだことで、サークルなどのイベント企画の責任者になった時、どうすれば組織を運営できるかを考える助けになった。
また理系に比べて、社会の役に立ちにくいからといって、廃止・縮小すべきではない。文系・理系に関わらず、大学にはすぐに研究の成果が出ていく学問分野

9月2日付の東京新聞朝刊には、文部科学省の「人文社会科学系の廃止」などの提言を受けた「国立大から文系消える」との記事が掲載された。筑波大学の津崎良典助教(人社会系)はこの記事を基に10月、授業で学生に問題提起。哲学の存在意義への考えを求めている。同助教に話を聞いた。



津崎良典助教

「なぜこの記事を授業で取り上げたのか。」
この政策が実行されれば、哲学は国立大から真っ先に廃止される存在。現在哲学をはじめとする人文学が置かれている状況を自覚し、この現状を何か批判する意識を学生に持つべきではないか。

「なぜこの記事を授業で取り上げたのか。」
この政策が実行されれば、哲学は国立大から真っ先に廃止される存在。現在哲学をはじめとする人文学が置かれている状況を自覚し、この現状を何か批判する意識を学生に持つべきではないか。

「実学でないから援助必要」
野と、長い期間を要する研究を行う学問分野がある。哲学や物理学の知識が必要な場合もある。
【物3年・男性】
人文社会科学が自然科学と違い、実学的でないこと、知的好奇心を生かし教育や研究の場を提供することへの批判があるが、逆に実学的でないからこそ国の補助が必要だと感じる。ただ、税金を投入されている以上、人文社会科学は「学んで何の意味があるのか」という声に、何らかの答えを出す必要はあると思う。

哲学はすべての学問の基礎 廃止は教育の不等を招く

「なぜこの記事を授業で取り上げたのか。」
この政策が実行されれば、哲学は国立大から真っ先に廃止される存在。現在哲学をはじめとする人文学が置かれている状況を自覚し、この現状を何か批判する意識を学生に持つべきではないか。

「なぜこの記事を授業で取り上げたのか。」
この政策が実行されれば、哲学は国立大から真っ先に廃止される存在。現在哲学をはじめとする人文学が置かれている状況を自覚し、この現状を何か批判する意識を学生に持つべきではないか。

「なぜこの記事を授業で取り上げたのか。」
この政策が実行されれば、哲学は国立大から真っ先に廃止される存在。現在哲学をはじめとする人文学が置かれている状況を自覚し、この現状を何か批判する意識を学生に持つべきではないか。



改革案を取り上げた9月2日付の東京新聞



稲永由紀講師

なぜ教員養成系や人文社会科学系に転換が求められているのか。教育社会学が専門の稲永由紀講師(ヒジネス系)に聞いた。
(聞き手・井口彩)

大学側の知恵次第

「文系は私立大学で学べばよい」という声もあるが、それも違う。哲学や文学などは全て分野を通じて基礎的な学問。需要がある。古くからのシステムに固執しては、縮小は免れないだろう。

多く、彼らの国立大学への要望が「社会的要請」になる。その要請は、おそらく経済や生産活動に直接関係する理工系などの分野に向かいがちだ。哲学や文学など「文系」が同委員会や評価委員会に「社会的要請」を化するのは自然なことだ。だが、大学側がそれをうみだすだけだ」と考えられているからだろう。

「文系は私立大学で学べばよい」という声もあるが、それも違う。哲学や文学などは全て分野を通じて基礎的な学問。需要がある。古くからのシステムに固執しては、縮小は免れないだろう。

「文系は私立大学で学べばよい」という声もあるが、それも違う。哲学や文学などは全て分野を通じて基礎的な学問。需要がある。古くからのシステムに固執しては、縮小は免れないだろう。

「文系は私立大学で学べばよい」という声もあるが、それも違う。哲学や文学などは全て分野を通じて基礎的な学問。需要がある。古くからのシステムに固執しては、縮小は免れないだろう。

記者の声



平嶋健人

51には起業家を育み、応援する文化・風土があるという。その醸成が、くはの課題ではないか。3日間のビジコンT sukuba Crear

つくばに必要な「起業文化」

筑波大学は7月、「つくばをシリコンバレー」を合言葉に、学生対象のビジネスコンテスト(BJコン)を初めて開いた。参加者に起業のアイデアを問うもので、学生らのプランには審査員から「世界で通用する内容だ」の声が上がるなど、大成功だったと思う。だが、現場取材して気がなることがあった。観客が驚くほど少ないのだ。米・シリコンバレー

「起業家を育み、応援する文化・風土がある」という。その醸成が、くはの課題ではないか。3日間のビジコンT sukuba Crear

情報が交換に勤む姿勢も頻繁に見られる。その起業家が「つくばにも、技術者や起業家が気軽に集まる(シリコンバレー)のような居酒屋があればいい」と話していたのが忘れられない。つくばの街、そして筑波大に、このような文化、風土が欠けているのは明らかだろう。TCCの初日は、森川氏ら著名起業家が参加し、大会館講堂でパネルドイスカッションが行われた。だが、事前に学内の各所でポスターを掲示し、全学生にメールで通知したにもかかわらず、講堂には空席が目立った。また、同講堂が開かれた最終日の起業プラン発表会でも一般の観客は

筑波時評

明治から昭和初期の物理学者である寺田寅彦は、1934年の彼の書で「日本は気象学的にも地球物理学的にも極めて特殊な環境の支配を受けているために、その結果として特殊な天変地異に絶えず脅かされなければならぬ運命のもとにお

自分の命は自分で守る

い地震、多雨である上に地震が多く活火山が

110もあるため、防災は国家を挙げて取り組まなければならない宿命に日本人は置かれているといえる。昨年10月16日の伊豆大島土石流災害(死者・行方不明者39人)、今年8月20日の広島市土石流災害(死者74名)、9月27

からみれば無秩序な宅地開発も災害を誘発するポテンシャルを高めている。気象、洪水、土石流などに関する研究・技術開発が進み情報通信技術の進歩と相まって、気象状況に応じて多くの情報、注意報、警報が出され、危険が迫った場合に



西本晴男教授(環境防災学)

生環系・教授、東京大学農学部卒業後、建設省(現国土交通省)入省、国土交通省河川局砂防部砂防計画課火山土石流対策官などを経て、2010年から現職。

日の御嶽山火山噴火災害(死者57名、行方不明者6名)と大災害が続き、台風が来襲するたびに各地で浸水被害が発生している。近年の時間雨量50mm以上の非常に激しい雨の出現頻度が増加しており、今後台風の大規模化も危惧されている。防災の視点

は市町村からは避難勧告・指示が出される場合がある。活火山については2007年から火山警報・予報が、さらに一部の活火山では噴火警戒レベルが併せて運用されている。こうした現状の背景に在る二つの重要なポイントを私たちは認識しておく

反射鏡

新聞読みますか？

インターネットの普及で、自分の知りたいニュースをいつでもどこでも手に入れられる時代になり、若者を中心に「新聞離れ」が深刻だといわれる。日本新聞協会によると、新聞の発行部数は1997年の約5377万部をピークに減少傾向にあり、昨年は約4700万部だった。新聞離れは筑波大学でも起きているのか。第三エリア周辺と中央図書館で聞いた。(小野恵司 社会学類1年、山野辺拓実 同1年3年)

【物理4年・男性】 日常的には読まない。月一。テレビやネットなどに2、3回程度流し読みをの他の情報源などからも情して、興味のある記事を複製して読む。【心理2年・男性】 毛筆に写し、ネットで詳しく調べている。物事を知る版を全部読む。テレビやネットで、熟読することはない。【知識図書1年・男性】 毎朝、大学に行く前に読む。殺人事件や政治の記事を会話の話題作り役立ててよく読む。関連記事にも目を通している。活字を読む習慣のおかげで、語彙力が養われたと思う。【比文2年・女性】

【社会学4年・男性】 スマホやタブレット上で紙面を開覧できる電子版を購読している。紙はかさばってしまうので、人が多い場所でも読むのに適しているが、電子版は手軽に読めるので便利。時間があれば、大手紙の記事を比較している。自分の所属している社会学類は、社会問題に関心のある人が多いので、新聞を読んでいる人も多いと思う。



イラスト 三浦 姉崎信(心理学類2年)

お気に入りの場所

【医学2年・女性】 石の広場が好き。あまり座り、景色を楽しみながら行く機会はないが、大学から食事している。【情報創成4年・女性】 虹の広場は、学内を探検するときに立ち寄る。友達と会う時にも、校舎が遠いので声の大きさを気にせず話すことができ、のびのびできる。【医学1年・女性】 医学食堂でよく昼食をとる。夜は街灯が暗く暗いので、普段はテレビやスマートフォンでニュースを確認している。授業で扱われた時事問題について詳しく調べるために、中央図書館にある新聞の縮刷版をたまに読んでみる。【生環2年・女性(中国)】 週に2、3回中央図書館で各紙の気になるニュースを流し読みする。【数物1年・女性】 ニュースはインターネットで見ている。友達に新聞を読んでもらう。最近、北朝鮮の拉致問題など国際関係の記事に興味がある。自分の周囲で新聞を読んでいる人は少ないと思う。【心理学3年・男性】

【社会学4年・男性】 茨城県出身なので、地域の情報を知るために中央図書館で読む。理系の学類に在籍しているが、経済や政治に関心がある。大学の自室にテレビがないので、新聞はネットに並ぶ貴重な情報源となっている。【心理3年・男性】 あまり読まない。読む時は、まんべんなく各紙の記事を読んでいる。最近、北朝鮮の拉致問題など国際関係の記事に興味がある。自分の周囲で新聞を読んでいる人は少ないと思う。【社会学4年・男性】 スマホやタブレット上で紙面を開覧できる電子版を購読している。紙はかさばってしまうので、人が多い場所でも読むのに適しているが、電子版は手軽に読めるので便利。時間があれば、大手紙の記事を比較している。自分の所属している社会学類は、社会問題に関心のある人が多いので、新聞を読んでいる人も多いと思う。

【数学3年・男性】 松美池を眺めながら、定食を食べられる一学食舎に行く。普段は春日エリアで授業を受けているが、課題に行き詰まった時などはそこで徹夜で作業する。【人文2年・男性】 石の広場の芝生は、日当たりの度々、一人でいても居心地が良い。お昼の時や講義がない時に立ち寄り、友達と会う時にも、校舎が遠いので声の大きさを気にせず話すことができ、のびのびできる。【目4年・女性】 住んでいる追越宿舎が好みに、探し物をするのに役に立っている。特に、5階は興味のある生物の図書があり、お気に入り。

貴重な書籍を展示

「鯨絵」や「住吉物語絵巻」など



筑波大所蔵の「鯨絵」(10月28日、中央図書館で)

筑波大学附属図書館主催の企画展「図書館を飛び出した書物たち」が10月20日から11月21日にかけて中央図書館新館1階貴重書展示室で開催されている。

企画展のテーマは「二次利用」。大学図書館が所蔵する書籍の中には、多数の教科書や学術書、雑誌や新聞などに掲載された貴重な資料がある。企画展では、中でも特によく使われる貴重な書籍を一堂に展示している。

例えば、江戸の大震災に古く和歌集も10年ぶりに一般公開されている。これらの資料が転載された雑誌や教科書は、会場で閲覧することができる。

展示会を企画した情報管理課の山本淳一 副課長は「光が当たると劣化してしまう書物は、普段は貴重書庫の中で厳重に保管している。今回はめったにない機会なので、有名な書物のオリジナルを実際に見てほしい」と語る。

会場を訪れた学生は「鯨絵に興味があって来た。現物を見るのは初めてなのでうれしい」と話した。11月9日には中央図書館

観客を落語の世界に

漫談や大喜利も

落語研究会の口演会「秋の収穫祭」が10月18日にデイズタウンつくば(つくば市竹園)のイベントホールで行われた。演者と来場者の距離が近い会場で、臨場感のある落語を披露した。

最も会場を沸かせたのは「香車亭いろは」こと菊池ゆとりさん(知識図書1年の「頭山」という演目。吐き出すのが面倒だからとサクラノボを種ごと食べた男の頭から桜の木が生えて



会場を笑いの渦に包んだ「香車亭いろは」こと菊池ゆとりさん(10月18日、デイズタウンつくばで)

に引き込んだ。毎年行っている口演会だが、今年も新入生が例年以上に多く入会したこともあり、その後の漫談や大喜利など、終止活気に包まれる口演となった。

同公演は、つくばの多様な魅力を紹介しようと、9月20日から12月31日にかけて行われている地域活性化キャンペーン「つくばはスタイル縁日2014」の一環として催された。落語研究会

多彩なジャンル熱唱

合唱団むくろりの定期コンサートが、10月10日、つくばカピオ(つくば市竹園)で開催された。34回目を迎えた今回は「夢の旅をテーマに合唱曲だけではなく、Jポップやシブリ映画の挿入歌など、多彩なジャンルの18曲を披露。集まった観客90人を魅了した。

コンサートは6部構成。第一部で歌われた「ADIE MUS」は、音の響きだけを重視した曲で、歌詞には意味がない。しかし、低音で落ち着いた曲調が始まった曲はリコーダーの伴奏と共に力強さを増し、会場は荘厳な雰囲気包まれた。第六部で歌われた「Hi de And Seek」はボーカロイド曲を同団が合唱曲に編曲したもの。過ぎ去っていった日々を振り返る曲で、団員たちは想いを込めて歌い切った。

アンコールでは、ミラーボールの演出や観客の手拍りに導かれていった。そして、深い考えを調査地として選んだトルコは、美しく「飯もおいしく、何よりそこは単なる調査対象ではなく、ずっと友人としてつきあっていけるような人々がいた。そのことは、ここ数年通っている、津波で被災した東北のある小さなまちでもそうだ。

会話は学外での活動に力を入れている。11月22日に第2回口演ではレベラック「怪獣のパレード」のメドレーを熱唱。このコンサートで引退する3年生の団員3人に花束が贈られた。

コンサートを訪れた筑波大の他の合唱サークルの男性は「選曲や編曲、伴奏など全てを学生のみで行っているの聞き、その完成度に驚かされた」と話した。この公演で引退した豊悠樹元団長(エンス3年)は「今回のコンサートは自分の集大成。とてもうまくいった。今後は後輩の活躍に期待したい」と語った。

同団は12月12日にもアルスホール(つくば市吾妻)でウインターコンサートを開催予定。(山野辺拓実 12面に写真)

絶対音感



筑波大学管弦楽団の第76回定期演奏会が、10月4日にナホール(つくば市吾妻)で、13日につくばシンフォニーホールズモーツァルトホール(東京都葛飾区)で開催され、両日合わせて約1200人が訪れた。H・ベルリオス作曲「序曲『リア王』」、M・ブルッフ作曲「バイオリン協奏曲第一番(長調)」、S・ラフマニノフ「交響曲第二番(短調)」を、約3時間間にわたって演奏した。

4日のつくば公演は、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター

作曲者の「思い」を奏でる

タ、三浦章宏(昭和58年度人間学類卒)の独壇場だった。ブルッフのバイオリン協奏曲第一楽章。ト短調の悲哀な調べを三浦のバイオリンが奏でた瞬間、会場の空気が張り詰めた。オーケストラをバックに、三浦は物悲しくも美しい旋律を奏でていく。美しいソナタが中心の第2楽章、夜明けを連想させるト長調の第3楽章。音楽家として秀でた才能を持つブルッフの楽曲特有の「歌うような」バイオリンの独奏を、三浦は遺憾なく奏でた。会場からは割れんばかりの拍手が送られ、2分以上止むことはなかった。



楽譜を見つめ、真剣に練習をする団員たち(2A棟で)

は「良い時間だったが、葛飾公演に向け、本番の経験を生かしてほしい」と語った。指導者の一人、新日本フィルハーモニー交響楽団での演奏経験を持つコントラバス奏者・指揮者の中田延亮は「楽譜通りに演奏するだけではだめだ。音のキャラクターを考え、『自分にとってこの音はこういう意味だ』と考えながら弾くんだ」と団員に熱く叫んだ。作曲者が楽譜の音符に込めた思いや意味を一つひとつ模索しながら、団員は練習漬けの1週間を送った。

13日の葛飾公演。練習の成果は、ラフマニノフの交響曲第二番が大きく花開いた。第3楽章のイ長調。ヴィオラの感傷的な音色の後、弦楽器を

原点

先に告白しておく、僕にはあまり帰すべき「原点」と呼べるものがない。というより、原点を語ることができなくなっている。嫌になっ

り率直に言えば、人生は今のところ、ほとんど偶然の積み重ねのようなものとして進んでいる。

僕は今、文化人類学という学問を勉強し、教えている。この学問を学び始めて15年くらい経ったが、それまでは文化人類学などという学問は知ら

なかつた。名古屋という日本一大きな田舎町で、道ばかりしていた男子高

人生とは偶然の積み重ね 文化人類学の可能性探す

学に出会った。しかし何に惹かれたのだろうか。教師は学生の前で、コンビニに行ける服装と電車に乗れる服装はどう違うのかとか、よくわからない問いをつぶやいていた。そして文化人類学は、そういう不思議な問いを異文化でのフィールドワークを通して考えるん

れを自分の道にしよう。そうでなければ、普通に大学を出て就職しよう。その賭けの結果はこうなったか?ごらんの通りである。僕は運が良かった。師匠と出会い、同期に恵まれ、周囲の人々との関わりから、文化人類学としては当時まだ新しいところにしていただけ

木村周平 助教(文化人類学)



人文社会学系・助教。東京大学大学院中退、博士(学術)。京都大学特定助教などを経て、2013年から現職。著書に『震災の公共人類学』(世界思想社)など。

だ、と語った。よくわからないまま僕はその「現場に出る哲学」にかぶれてしまった。最初のお目当てだった国際関係論には成績が悪かった。そこで僕はずもなかつた。そこで僕は賭けに出た。もし文化人類学に希望を出して進学できたら、そ

だ、と語った。よくわからないまま僕はその「現場に出る哲学」にかぶれてしまった。最初のお目当てだった国際関係論には成績が悪かった。そこで僕はずもなかつた。そこで僕は賭けに出た。もし文化人類学に希望を出して進学できたら、そ

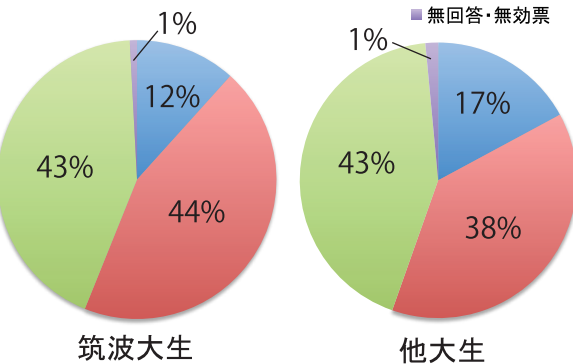
ら学んだことのように思う。そして連下文化人類学者になったからには、この学問を通じて、ちょっとずつ、世界をより多様に、より生きやすいところにしていくから、と思っている。

授業中のスマホ

筑波大生44%が「制限すべきでない」

デザイン=姉崎信(心理学類2年)

授業中のスマホ使用について どう思うか



「制限すべきでない」とした理由について、「他人に迷惑をかけなければいい」という声も多かった。また「授業中のスマホ使用は自己責任で済ませよう」という意見も多かった。一方、「授業中のスマホ使用は自己責任で済ませよう」という意見も多かった。また「授業中のスマホ使用は自己責任で済ませよう」という意見も多かった。

「授業妨害」認識に差

「授業妨害」認識に差

スマホを使うのは「眠気」マホの使用は自己責任で済ませよう」という意見も多かった。また「授業中のスマホ使用は自己責任で済ませよう」という意見も多かった。一方、「授業中のスマホ使用は自己責任で済ませよう」という意見も多かった。

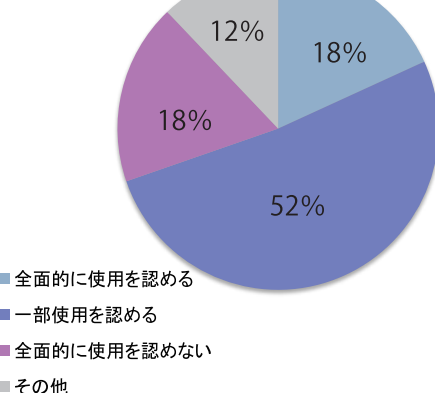
調査方法

10月中旬から下旬にかけて、筑波大のほか、青山学院大、慶應義塾大、上智大、一橋大、法政大の協力を得て授業中のスマホ使用に関する9個の質問に答えるアンケートを実施。筑波大では360人から、慶應義塾大など他大から269人の回答を得た。

教員の意見

「学生の授業中のスマホの使用についてどう考えるか」に対しては、7割が「全面的に使用を認めない」と回答した。また、「一部使用を認める」と回答した教員は、3割に達した。一方、「全面的に使用を認める」と回答した教員は、1割に達した。

学生の授業中のスマホ使用について どう考えるか



「全面的に使用を認める」と回答した教員は、1割に達した。また、「一部使用を認める」と回答した教員は、3割に達した。一方、「全面的に使用を認めない」と回答した教員は、5割に達した。

関係悪化防ぐため使用



藤桂助教

インターネットの利用が人間の心理に及ぼす影響を研究する藤桂助教(人間系)に授業中のスマホ使用とネット依存との関連について話を聞いた。

教員の態度と相関関係

安東恵美さん(教育4年)は、卒業研究として「現代の大学生の主体的な授業参加」をテーマに、大学生の授業中におけるスマホの使用状況について調査している。

また、教員に対しては「授業中のスマホ使用を認める」と回答した教員は、3割に達した。一方、「全面的に使用を認めない」と回答した教員は、7割に達した。

スマホで出席確認 「manaba」使用



「微生物学Ⅱ」でスマホを使い出席確認する様子(10月20日、2B棟) ■新田明夏撮影

教員が授業でスマホを活用する例もある。4月からスマホを使って出席確認を行っている桑原朋彦准教授(生薬系)に具体的な方法やメリットを聞いた。

「微生物学Ⅱ」でスマホを使い出席確認する様子(10月20日、2B棟) ■新田明夏撮影

今季初連勝で10位浮上 降格圏を脱出

関東大学リーグ

成績 10月30日現在

| | 点 | 試 | 勝 | 敗 | 分 | 得 | 失 | 差 |
|-------|----|----|----|----|---|----|----|-----|
| ①順天堂 | 41 | 19 | 12 | 2 | 5 | 34 | 16 | 18 |
| ②明治 | 40 | 19 | 12 | 3 | 4 | 34 | 17 | 17 |
| ③専修 | 38 | 19 | 11 | 3 | 5 | 48 | 24 | 24 |
| ④早稲田 | 35 | 19 | 10 | 4 | 5 | 24 | 14 | 10 |
| ⑤国士舘 | 28 | 19 | 7 | 5 | 7 | 32 | 28 | 4 |
| ⑥慶應義塾 | 28 | 19 | 7 | 5 | 7 | 19 | 17 | 2 |
| ⑦駒澤 | 27 | 19 | 8 | 8 | 3 | 33 | 40 | -7 |
| ⑧流通経済 | 20 | 19 | 5 | 9 | 5 | 21 | 30 | -9 |
| ⑨桐蔭横浜 | 16 | 19 | 5 | 13 | 1 | 23 | 40 | -17 |
| ⑩筑波 | 15 | 19 | 4 | 12 | 3 | 17 | 29 | -12 |
| ⑪中央 | 14 | 19 | 4 | 13 | 2 | 20 | 38 | -18 |
| ⑫東京国際 | 13 | 19 | 2 | 10 | 7 | 18 | 30 | -12 |

〔古河市立古河サッカー場(茨城県古河市)で森脇慎二社会学類2年、写真も〕関東大学リーグ後期が9月6日から11月16日にかけて行われている。1部リーグ残留争いを繰り広げている筑波大は10月26日、駒澤大と対戦し、2-0で勝利した。今季初の連勝を飾った筑波大は10位に浮上し、降格圏を脱出した。(10月30日現在)

中野嘉が活躍

前日に最下位の中央大が、たまたま勝って降格圏脱出、10位の東京国際大に勝利し、引き分け以下なら最下位に



巧みなドリブルで果敢に相手ゴールへ攻める中野嘉大 (10月26日、駒澤大戦で)

転落する大一番となった一戦。エースナンバーの10番を背負う中野嘉大(体専4年)が全得点に絡む活躍を見せた。前半、駒澤大のシュート12本に対し、筑波大は一本と防戦一方。しかしGK岩脇力哉(同3年)を中心に守りきり、前半を0-0で終える。後半は筑波大がゴール左隅にシュート。先制点をもぎ取った。

の深い位置でボールを持つ中野誠也(同1年)からパスを受けた中野嘉が、ワントラップしてから右足でゴール左隅にシュート。先制点をもぎ取った。

試合終了間際には、ゴール正面の位置でフリーキックを獲得。中野嘉のゴール左を狙ったシュートはポストに当たったが、詰めていた戸嶋祥郎(同1年)が頭で押し込み追加点を挙げた。

DF陣の懸命の守りに応えた中野嘉は「自分のところでボールが収まればチャンスになるとわかっていて。周りの選手のおかげで自分の前にスペースができ、狙い通りにシュートを打つことができた」と先制点を振り返った。

筑波大はこの日の勝利で10位に浮上したが、残留に勝つことが内定した。今季現役引退後は野球解説者として活動し、今春には同大学院に入学。人間総合科学研究科スポーツ医学などを学んでいる。監督に就任する場合は大学院を休学する可能性が高いという。



工藤公康氏

工藤氏 監督就任へ 大学院は休学も

プロ野球ソフトバンクの来季監督に、野球解説者で筑波大学大学院に通う工藤公康氏(体専1年)が就任することが内定した。今季現役引退後は野球解説者として活動し、今春には同大学院に入学。人間総合科学研究科スポーツ医学などを学んでいる。監督に就任する場合は大学院を休学する可能性が高いという。

工藤氏は愛知、名古屋で生まれ、筑波大に進学。1998年のドラフト6位で西武に入団。ダイエー(現ソフトバンク)や巨人などでプレーした。14度のリーグ優勝と11度の日本一を経験し、実働29年間で通算224勝をマークした。現役引退後は野球解説者として活動し、今春には同大学院に入学。人間総合科学研究科スポーツ医学などを学んでいる。監督に就任する場合は大学院を休学する可能性が高いという。



相手選手を振り切りトライを狙う鈴木 (10月18日、帝京大戦で) =ラグビー部提供

対抗戦最下位と低迷 帝京大戦も敗れる

ラグビー

9月13日から開催されている関東大学対抗戦で、筑波大ラグビー部の低迷が続いている。10月30日現在、開幕から4連敗し、8チーム中5位。思うような結果を出せていない。

10月11日に熊谷スポーツ文化公園(埼玉県熊谷市)で行われた第3回戦の慶應義塾大戦では前半2分に福岡堅樹(情科3年)がトライを決めるなど、14-12とリードして折り返す。後半3分、7分、15分にトライを決められた筑波大は、40分に水上彰太(体専4年)

が、44分に島田拓也(社学3年)がトライを決めたものの、惜しくも29-36と二歩及ばなかった。

10月18日に秩父宮ラグビー場(東京都港区)では帝京大戦が行われた。前半17分にトライを許したが、36分に鈴木啓太(体専1年)がトライを決め、5-7で前半を終えた。続く後半5分、12分に連続でトライを決められた筑波大は、16分に亀山宏太(同3年)のトライで5点を返した。しかし流れを覆せず、32分、38分に連続でトライを決められ10-31で敗北した。

帝京大戦でトライを決めた鈴木は「後半開始後にディフェンスの隙を突かれ、トライを決められた。入念な練習でしっかりと守備を固めたい」と話した。古川拓生監督(体育系・准教授)は「後半20分ごろ

までは帝京大と互角の戦いができた。最後は力負けしたが、この敗戦で課題も見つかった。今後は筑波大らしいラグビーで勝ちたい」と語った。(山野拓実)

10月18日に秩父宮ラグビー場(東京都港区)では帝京大戦が行われた。前半17分にトライを許したが、36分に鈴木啓太(体専1年)がトライを決め、5-7で前半を終えた。続く後半5分、12分に連続でトライを決められた筑波大は、16分に亀山宏太(同3年)のトライで5点を返した。しかし流れを覆せず、32分、38分に連続でトライを決められ10-31で敗北した。

帝京大戦でトライを決めた鈴木は「後半開始後にディフェンスの隙を突かれ、トライを決められた。入念な練習でしっかりと守備を固めたい」と話した。古川拓生監督(体育系・准教授)は「後半20分ごろ

までは帝京大と互角の戦いができた。最後は力負けしたが、この敗戦で課題も見つかった。今後は筑波大らしいラグビーで勝ちたい」と語った。(山野拓実)

白鷺大にリードされる。第1ピリオド終盤には14-16と2点差まで詰め寄ったが、第2ピリオドでは互いに譲らぬ点の取り合いとなった。第3ピリオドでは笹山貴哉(体専4年)の3Pシュートで勢いの乗ると、杉浦佑成(同1年)もシュートを決め、同点まで追いついた。だが、第4ピリオドで、白鷺大に13点差

をつつけられる。終盤、筑波大は村越圭佑(同3年)のフリースローなどで反撃したが、逃げ切られた。吉田健司監督(体育系・准教授)は「練習でやってきたことができていない。それに対する迷いばかりで、試合に勝たないという気持ちが出ていなかった。次の試合に向けて、頑張りたい」と話した。(大西美雨)

4位で1部残留 白鷺大には惜敗

関東大学リーグ

バスケット



第4ピリオド、フリースローでゴールを狙う村越 (10月26日、白鷺大戦で) =林健太郎撮影

関東大学1部リーグが9月6日から11月2日まで国立代々木競技場第二体育館(東京都渋谷区)などで行われている。男子は10月30日現在、10チーム中4位で1部残留が決定した。11月1、2日に行われる、1位から4位のトーナメント方式の試合で、最終順位が確定する。

10月26日には、東海大湘南キャンパス(神奈川県平塚市)で白鷺大と対戦し、66-74で惜敗した。筑波大はゲーム序盤から

白鷺大にリードされる。第1ピリオド終盤には14-16と2点差まで詰め寄ったが、第2ピリオドでは互いに譲らぬ点の取り合いとなった。第3ピリオドでは笹山貴哉(体専4年)の3Pシュートで勢いの乗ると、杉浦佑成(同1年)もシュートを決め、同点まで追いついた。だが、第4ピリオドで、白鷺大に13点差をつつけられる。終盤、筑波大は村越圭佑(同3年)のフリースローなどで反撃したが、逃げ切られた。吉田健司監督(体育系・准教授)は「練習でやってきたことができていない。それに対する迷いばかりで、試合に勝たないという気持ちが出ていなかった。次の試合に向けて、頑張りたい」と話した。(大西美雨)

全日本大学女子駅伝対校選手権が10月26日に仙台市陸上競技場(仙台市宮城野区)周辺で行われた。筑波大は3年連続の出場だったが、一度も上位争いに加われず26チーム中20位で、8位以内には与えられないシード権の獲得はならなかった。

1区秋山桃子(体専2年)は流れに乗れず、21位で2区の新山美帆(同3年)にたすきを渡さない。2年ぶりの出場となった3区久馬萌(同3年)は力走を見せたが、順位を上げることができなかった。その後4区の藤丸佑紀(生資1年)が順位を一つ上げたが、最後まで苦しいレースが続き、2時間13分09秒で

男子は3位
接戦に強さ
関東学生リーグ
ハンド
男子は3位
接戦に強さ
関東学生リーグ
ハンド

3年連続出場も20位 シード権逃す

全日本大学女子駅伝対校選手権が10月26日に仙台市陸上競技場(仙台市宮城野区)周辺で行われた。筑波大は3年連続の出場だったが、一度も上位争いに加われず26チーム中20位で、8位以内には与えられないシード権の獲得はならなかった。

男子は3位
接戦に強さ
関東学生リーグ
ハンド

通り。▽1区(6.4キ)・秋山桃子(生資1年)22分22秒(21位)▽2区(5.6キ)・新山美帆(生資2年)19分28秒(20位)▽3区(6.8キ)・久馬萌(同3年)11分11秒(18位)▽4区(4.8キ)・藤丸佑紀(生資1年)17分16秒(19位)▽5区(9.2キ)・中村真悠子(体専2年)31分15秒(11位)▽6区(5.2キ)・大森由香子(体専4年)18分37秒(14位) (井口彩)

記録ファイル

◆柔道 世界ジュニア選手権(10月22-26日、アメリカ・フォートローダーデール)【女子】52キ級 内尾真子(体専1年)113位◆オリエンテーリング 日本学生選手権ロングデイズタンス競技(10月12日、トリムパークかなづ)【男子】▽学生一般クラス1 松井俊一(地球4年)46分18秒▽3位▽学生新人クラス1 小林大悟(心理1年)36分57秒【女子】▽選手権クラス 宮田優花(心理3年)1時間35分26秒【6位▽学生一般クラス1 中村里奈(芸専3年)57分11秒▽9位▽学生新人クラス

訂正とおわび
316号8面「女子バレー秋季関東大学リーグ戦」の記事で、「リーグ戦は10月11日まで行われる」とあるのは「リーグ戦は10月12日まで行われる」の誤りでした。また、「関東大学サッカーリーグ戦」の記事で、「リーグ後期が9月6日から11月16日にかけて行われている」とあるのは「9月6日から11月16日にかけて行われている」の誤りでした。おわびして訂正いたします。

訂正とおわび
316号8面「女子バレー秋季関東大学リーグ戦」の記事で、「リーグ戦は10月11日まで行われる」とあるのは「リーグ戦は10月12日まで行われる」の誤りでした。また、「関東大学サッカーリーグ戦」の記事で、「リーグ後期が9月6日から11月16日にかけて行われている」とあるのは「9月6日から11月16日にかけて行われている」の誤りでした。おわびして訂正いたします。

最終戦敗れ優勝逃す

首都大学野球1部リーグ



初回1死一、二塁、先制の適時打を浴びる先発の西島 (10月19日、帝京大戦で)

リーグ3位で終了

得意の接戦に持ち込み、初回、先発の西島隆成(体専3年)は制球が定まらず、試合は終始、帝京大に二死一、二塁から中越え適主権を握られた。

【パティンクパレス相模スタジアムひらつか(神奈川県厚木市)で鈴木拓也(人文学類3年、写真も)8チームが2回戦総当たりで戦う首都大学秋季リーグの最終戦が10月19日に行われた。筑波大は勝てば優勝という大一番で帝京大に1-6で敗れ、10勝3敗1分けで東海大、帝京大に次ぐ3位に終わったが、明治神宮大会の出場権をかけた関東地区大学選手権の出場権を6年ぶりに獲得した。2位の帝京大とは勝率で並んだが、春季リーグの順位が帝京大よりも下だったため、筑波大が3位となった。



三回、先頭打者の板崎が左前打を放つ(10月19日、帝京大戦で)

時三塁打を浴びるなど、一挙に3点を先行される。西島は四回にさらに1点を失い、この回途中で降板。筑波大は流れを返そうと細かい継投策に出たが、帝京大の攻撃を止められなかった。筑波大打線は三回、先頭の板崎直人(同3年)が左前打で出塁。だが、続く國井伸二朗(同3年)が犠打失敗で併殺に終わるなど、拙攻が目立った。6点差で迎えた九回には、二死満塁のチャンスを作るが、押し出しの四球で1点を返すが、これが精いっぱいだった。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、二塁から中越え適主権を握られた。筑波大は勝てば優勝という大一番で帝京大に1-6で敗れ、10勝3敗1分けで東海大、帝京大に次ぐ3位に終わったが、明治神宮大会の出場権をかけた関東地区大学選手権の出場権を6年ぶりに獲得した。2位の帝京大とは勝率で並んだが、春季リーグの順位が帝京大よりも下だったため、筑波大が3位となった。

明治神宮大会の出場権をかけた関東地区大学選手権の初戦が10月27日に横浜スタジアム(横浜市中区)で行われた。首都大学連盟第3代表となった筑波大は関甲新学生連盟第2代表の上武大と対戦、1-2で惜敗した。筑波大は二回、無死満塁のチャンスを作ると、内野ゴロの間に1点を先制。だが、八回に先発投手の西島隆成(体専3年)が二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

逆転勝ちで3位入賞

秋季リーグ

後半流れつかむ

【青山学院記念館(東京都渋谷区)で林健太郎(社会学類2年、写真も)9月から行われていた秋季関東大学1部リーグの最終戦が10月12日に行われ、女子は青山学院大に逆転勝ちし、5勝5敗で8チーム中3位に入賞。12月に行われる全日本インカレに向けて弾み

をつける結果となった。また、秋谷沙也加(体専1年)がスパイク賞を受賞した。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

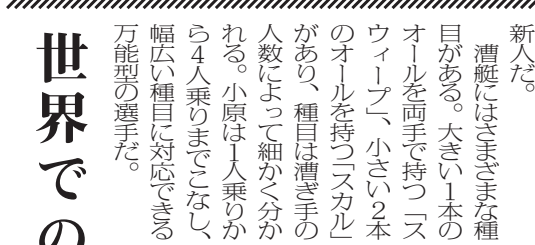
バレー

【青山学院記念館(東京都渋谷区)で林健太郎(社会学類2年、写真も)9月から行われていた秋季関東大学1部リーグの最終戦が10月12日に行われ、女子は青山学院大に逆転勝ちし、5勝5敗で8チーム中3位に入賞。12月に行われる全日本インカレに向けて弾み

をつける結果となった。また、秋谷沙也加(体専1年)がスパイク賞を受賞した。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。



スパイク賞を受賞した秋谷沙也加(10月12日、青山学院大戦で)

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

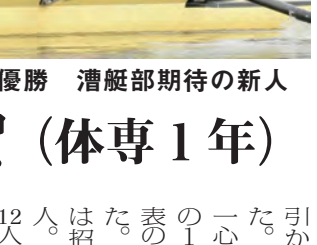
【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

顔

今年8月の第41回全日本大学ボート選手権大会で3位入賞、9月に台湾で行われたアジアジュニア選手権では優勝するなど、1年生ながら世界を舞台に戦った。入学から半年で早くも部を牽引する、筑波大漕艇部期待の新人だ。



アジアジュニア選手権優勝 漕艇部期待の新人 小原有賀(体専1年)

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

記者の目

筑波大は2006年秋以来の首都大学リーグ優勝まであと二歩だった。チームはリーグ序盤から順調に白星を重ね、首位で最終戦を迎えた。だが、最後は帝京大に敗れ、10勝3敗1分けで最終順位は3位。それでも春の6位から大きく順位を上げ、6年ぶりに関東地区大学選手権に出場するなど躍進のシーズンだった。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

投手陣がチーム支える

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

世界でのメダル獲得目指す

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

【リーグ戦最後の試合だ。いつも通りやろう。試合前、川村卓監督(体育系・准教授)は選手たちに平常心で臨むことを強調した。だが試合終了後、初回に「いきなり3失点は厳しい。せめて1点に抑えてほしい」と話した。二死一、三塁から右中間に2点適時三塁打を浴び、逆転された。九回は三者凡退で終わり、1-2で敗れた。

未登録車の撤去開始

ICタグ1年 値上げも視野に

迷惑駐輪や放置自転車をなくすことを目的に、ICタグを用いた自転車・バイク登録制度が運用されてから1年になる。今年度から未登録自転車などの撤去が始まったが、当初予定していた不適切な駐輪をした学生に対するメールでの警告はまた行われておらず、学内は今学期も多くの自転車であふれている。当初は無料配布だったICタグも今年度は実費を徴収。来年以降は値上げの可能性が浮上するなど、新たな問題も浮き彫りとなってきている。(鈴木拓也「人文学類3年」)

■1200台廃棄処分
筑波大は今年4〜10月までに未登録自転車など計約2000台を各エリアの撤去場所に移動、うち一定期間が過ぎた約1200台を廃棄処分にした。学生生活課によると、第一、三エリアでは主に未登録自転車を各114台、35台撤去し、総合研究棟A周辺では駐輪スペース外にあった約50台を撤去。同課では「今後も撤去、廃棄作業を続ける」としている。

■計画通りに進まず
ただ、現在は人員不足から学内の撤去作業は不定期に行っている。また制度開始当初は、登録したにもかかわらず不適切な駐輪をした学生に対してメールで警告しない」と話している。

■ICタグの値上げも
一方、昨年大学の一部で浮上したICタグの値上げ案について学生生活課は「今のところ決まってい

告する予定だったが、まだ行われていない。学生生活課は「年内には警告を始めたい」としている。

同課によると当初予定されていた警告や撤去作業が進んでいないことについて、学生からは「撤去しないと実効力が伴わない」との意見が大学によせられているという。これに対し、同課は「自転車問題は学生のマナーの問題でもある」と指摘。「全代会などが呼びかけて、学生の意識を変えてほしい」と話している。

ただ同課によると、自転車・バイク登録制度の運営費は主に人件費など毎年約450万円かかる。一方で今年度、同制度に充てられた予算は約300万円。昨年度の約1400万円から大幅に減額。さらに来年度は予算がゼロの可能性もある。また今年度の新入生

から徴収したICタグ代は計約300万円。このままでは将来的なICタグの値上げは避けられない」と話している。

ICタグは現在、自転車や盗まれた場合やICタグ自体が壊れた場合は無料で再配布している。だが、自転車を買い替えてICタグを交換する場合やICタグをなくした場合1000円を徴収。大学は今年度から学内で自転車の利用を希望する新入生から、入学生続きの際にICタグ代として1000円を徴収している。

茨城県は、つくば市松代の公務員宿舎を「いばらきクリエイティブハウス」(仮称)として、個人やグループ、法人向けに12月から無償で貸し出す。アニメやゲーム、スマートフォンアプリなどのコンテンツを制作する若者の活動拠点とし、県のコンテンツ産業の育成を狙う。

提供する宿舎は、県が保

てもらう」という目的は変わらない。ただ、1号機では衛星の温度や電池の残量をモジュール信号で送信する予定だったが、2号機ではそれに加え「モジュール信号よりも受信が簡単」(プロジェクト責任者・亀田敏弘准教授)と説明。だいたい合成音声でも情報を発信する。

チーム代表の犬塚健斗さん(工学部4年)は「1号機を開発した時よりも、メンバーの能力を引き出せるよう努めた。2号機は絶対に成功させたい」と抱負を語った。

「結」の1号機は11年3月に開発を開始。13年12月に完成し、今年2月にJAXAのロケットの相乗りの衛星として打ち上げられたが、内部に何らかの不具合が生じて衛星からの電波を受信できなかった。6月末に大気圏に突入し消滅した。(井口彩、写真も)

県が宿舎を無償貸出 入居者の制作活動支援

有する空き家となっていた公務員宿舎2棟4戸(築34年)。「住居」としてではなく、アトリエやオフィスとしての利用が想定されている。部屋数は2棟合わせて16室で、キッチンやトイレなどは共用。個人としての利用は2室までで、法人やグループでの利用は活動規模によって部屋数を決める。入居の際は、家具の移動や定期的な実施し、制作活動の進捗状況を確認する。また、入居者支援のため制作に必要な技術を持った人材の紹介を考えている。管理運営委託者のつくばインキュベーションラボ代表取締役、島袋典子さんは「筑波大生にもぜひ入居してほしい。学生と地域の人々が協力することで、新しい産業が生まれるかもしれない」と話した上で、筑波大をはじめ、地域とのネットワークを形成し、コンテンツ産業を活性化したい」と語った。



県が貸し出すつくば市松代の「いばらきクリエイティブハウス」=つくばインキュベーションラボ提供

敷金・駐輪場代が無料だが水道代などの他の費用は入居者が負担する。入居期間は最長で2017年3月までの予定だ。

入居後は支援担当者との面談を定期的に行い、制作活動の進捗状況を確認する。また、入居者支援のため制作に必要な技術を持った人材の紹介を考えている。管理運営委託者のつくばインキュベーションラボ代表取締役、島袋典子さんは「筑波大生にもぜひ入居してほしい。学生と地域の人々が協力することで、新しい産業が生まれるかもしれない」と話した上で、筑波大をはじめ、地域とのネットワークを形成し、コンテンツ産業を活性化したい」と語った。

受付締切は11月20日まで。個人、団体共に、所定の用紙をホームページからダウンロードし、郵送で申し込む。書類選考の後、11月下旬に面接を行い、12月中旬から入居を開始する。(原啓一郎)

交通法の対象になっていない」と説明。過去に自転車事故で相手した後遺症を負わせ、多額の賠償金を請求された例を挙げ「事故を起こしてしまえば人生が一変する可能性もある」と話した。その後のディスカッションでは、全代会の南山歩さん(応理3年)が「外国語センターの近くのペDESTリアンデッキでは、歩行者と自転車が同じ道を通っていて危険だ」と指摘。歩道を整備し、歩行者には必ず歩道を通ってもらうよう取り組みを提案した。(栗山菜帆子)

「結」2号16年に打ち上げ

「きぼう」から放出



会議で進捗を報告しあうメンバーたち(10月11日、総合研究棟Bの開発室で)

筑波大学生が製作する小型人工衛星「結」の2号機「ITF-2」が、2016年9月に打ち上げられることが決まった。宇宙航空研究開発機構(JAXA)のロケットに相乗りの国際宇宙ステーション(ISS)へ打ち上げられた後、ISSの日本実験棟「きぼう」から宇宙に放出される予定だ。開発チームは、今年2月に打ち上げられた衛星からの電波を受信できずに消滅した1号機の製作経緯を生かし、作業を進めている。

2号機は1辺約10cmの立方体で重さ約1.2kgと小さく、重さは1号機と同じだが、1号機の故障原因とみられる電気回路のバーンなど内部の構造を改良するという。だが、1号機が達成できなかった「子どもや一般の人にも手作りの簡易アンテナで電波を受信し

てもらう」という目的は変わらない。ただ、1号機では衛星の温度や電池の残量をモジュール信号で送信する予定だったが、2号機ではそれに加え「モジュール信号よりも受信が簡単」(プロジェクト責任者・亀田敏弘准教授)と説明。だいたい合成音声でも情報を発信する。

チーム代表の犬塚健斗さん(工学部4年)は「1号機を開発した時よりも、メンバーの能力を引き出せるよう努めた。2号機は絶対に成功させたい」と抱負を語った。

「結」の1号機は11年3月に開発を開始。13年12月に完成し、今年2月にJAXAのロケットの相乗りの衛星として打ち上げられたが、内部に何らかの不具合が生じて衛星からの電波を受信できなかった。6月末に大気圏に突入し消滅した。(井口彩、写真も)

子どもたちが大人になった時、ふとした瞬間に、今日の読み聞かせを思い出すが来るかもしれない。ストーリーテリング研究会はこれからは、彼らの心の中に思い出の一冊を残していく。(佐々木優「知識情報・図書学類3年、写真も」)



「ここは先生、どこですかー」

「ここは先生、どこですかー」

「ここは先生、どこですかー」

「ここは先生、どこですかー」

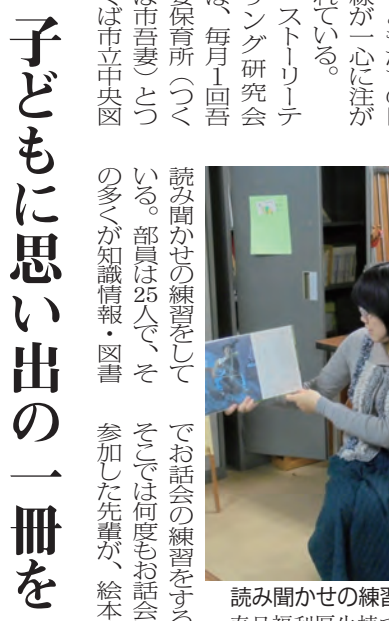
「ここは先生、どこですかー」

「ここは先生、どこですかー」

「ここは先生、どこですかー」

「ここは先生、どこですかー」

ストーリーテリング研究会



読み聞かせの練習をするメンバー(10月26日、春日福利厚生棟で)

「むかしむかし、あるところに……」。ある日曜日の昼下がり、図書館の一室に子どもたちが集まっていた。お目当ては絵本のお話会。絵本を読み聞かせるのは、ストーリーテリング研究会だ。彼らが読む絵本に、子どもたちの視線が一心に注がれている。

ストーリーテリング研究会は、毎月1回吾妻保育所(つくば市吾妻)とつくば市立中央図書館の多くが知識情報・図書

で、お話会の練習をする。部員は25人で、そこでは何回もお話会に参加した先輩が、絵本の

「結」の1号機は11年3月に開発を開始。13年12月に完成し、今年2月にJAXAのロケットの相乗りの衛星として打ち上げられたが、内部に何らかの不具合が生じて衛星からの電波を受信できなかった。6月末に大気圏に突入し消滅した。(井口彩、写真も)

子どもたちが大人になった時、ふとした瞬間に、今日の読み聞かせを思い出すが来るかもしれない。ストーリーテリング研究会はこれからは、彼らの心の中に思い出の一冊を残していく。(佐々木優「知識情報・図書学類3年、写真も」)

Who's Who?

ヒマラヤ山脈のマンセイル峰 世界初の登頂成功者

中村 真理子 さん (人文4年)



マンセイル峰にアタックする中村さん (9月29日、キャンプ2とマンセイル峰の間の氷河で) =本人提供

今年9月29日にヒマラヤ山脈の未踏峰・マンセイル峰(ネパール・標高6242m)の登頂に世界で初めて成功した、「日本山岳会学生部女子ムスタン登山隊」のメンバーの一人。「足を一歩一歩進めることに、人生で初めて

この標高を目指すことに感動を覚えた」と登山を振り返る。中村さんにとって、今回は初めての海外登山。「禁断の王国」と呼ばれる奥ヒマラヤ・ムスタンのマンセイル峰。登頂には数々の困難が待ち受けていた。登山前、現地の天気予報では山の天気は大きく荒れることはない」とされていたが、その予報は外れ、激しい降雪に見舞われた。さらに、登山隊のメンバーの一人が体調を崩し、登山の断念を余儀なくされた。登山中は深さ数級のクレバス(氷河の巨大な裂け目)にも遭遇し、その上を通過することも。数々の困難にぶつかったが、「せつかくの登山だから楽しまなくてほしい」と、苦境を乗り切った表情で語る。

何事も楽しむチャレンジ精神 「登山で自分と向き合える」

旅してみたい。世界中の山に登ってみたい」と思うようになった。そんな思いから、筑波大入学直後にワンダーフォーゲルクラブに入部。初めて登った山は東京都奥多摩の雲取山(2017年)。「初めて登った時はとても苦しく、登るだけで精一杯だったが、今は後輩を引率しながら登るまでになった。1年生のこと比べて、登山に余裕が生まれたと感じる」と自身の成長をかみしめる。美術部で培った画力を生かして、登山の際はたびたび山の風景をスケッチする。「旧友たちが、海外登山に挑戦する今の私の姿を見たとき、驚くのは一とほほ笑む。

大学では宗教学を専攻する。「ただ単に登山するのではなく、現地の文化や生活に触れるのも面白い」と興味の幅も広い。マンセイル登山のために訪れたムスタン地方は、チベット仏教の影響を強く受け、その文化が残った数少ない地域のひとつだ。「ネパールを散策している時、マニ石(仏教が刻ま

編集後記

筑波大学の今後のプランニング戦略を考える「広領域戦略室」の会議に参加する機会がありました。「筑波大の強みは何なのか? ……話し合いの中で最も多くの票を集めたのが「学際性」でした▼幅広い学問領域をカバーした学群・学類。専門分野を超えて、他学類の講義を履修できるカリキュラム。これに惹かれて入学を決めた学生も多いのではないのでしょうか▼社会科学類(3年)

次号は

12月8日(月)

発行予定です

下田臨海実験センター



高性能の新型海洋調査船「つくばII」(10月24日、静岡県下田市で) =平嶋健人撮影

2面へ

合唱団むくどり 定期コンサート



多彩なジャンルの曲を披露し、観客を魅了した(10月10日、つくばカピオで) =合唱団むくどり提供

5面へ

関東大学リーグ



先制点を挙げた中野嘉大(10月26日、駒澤大戦で) =森脇慎撮影

8面へ

秋季関東大学リーグ



得点を決め喜ぶ筑波大選手(10月12日、青山学院大戦で) =林健太郎撮影

9面へ

学内総合

学芸

スポーツ

スポーツ